

平成20年度のJC-NET会議

- 日時 : 3月14日(土)~15日(日)
- 場所 : 大妻女子大学多摩校舎
- 申し込み : 配布チラシ、JC-NETウェブをご覧ください
- プログラム : ワークショップ、実践発表、ポスター発表等

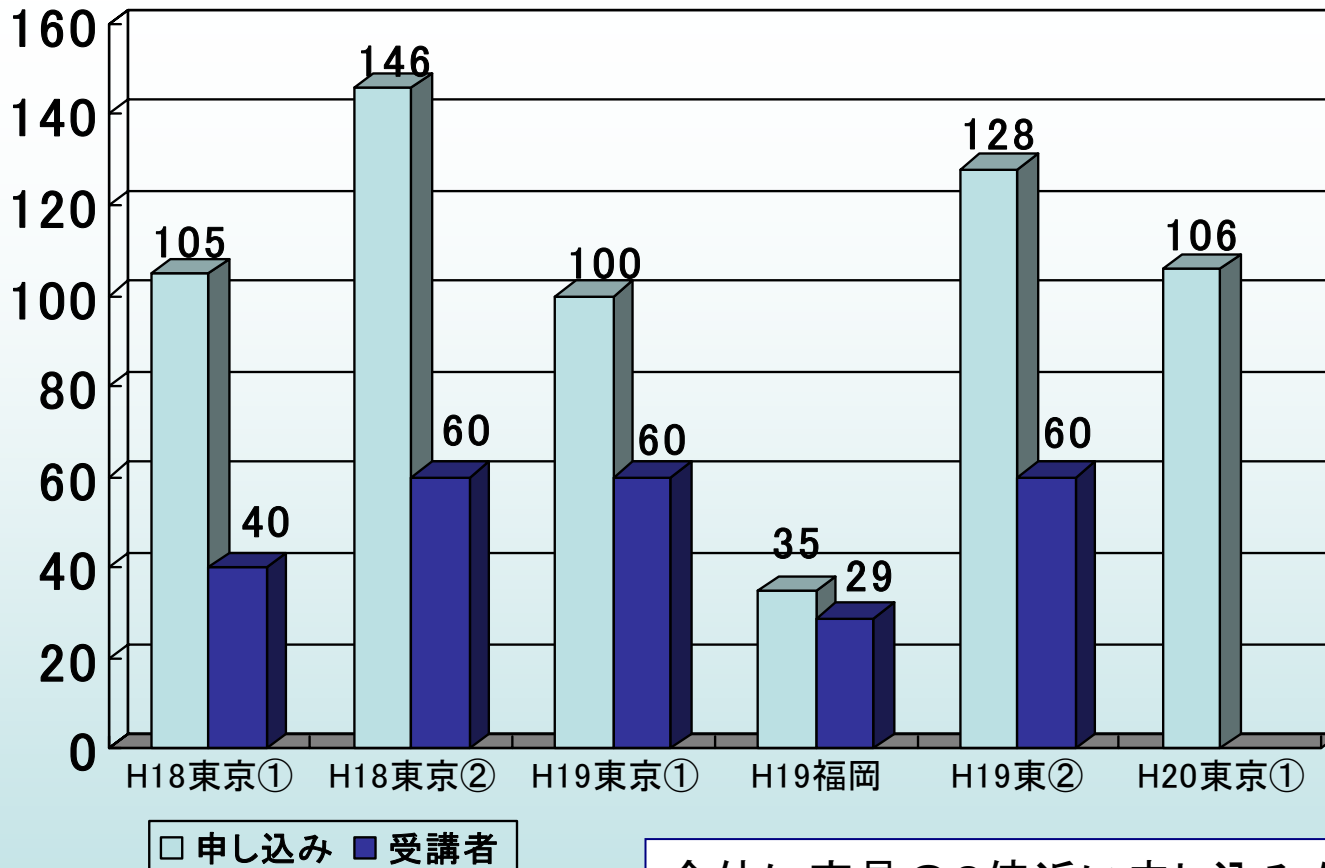


実践的で具体的なテーマが設定された
 ワークショップ、実践発表



明日の実践に役立つ情報が得られる
 ポスター発表

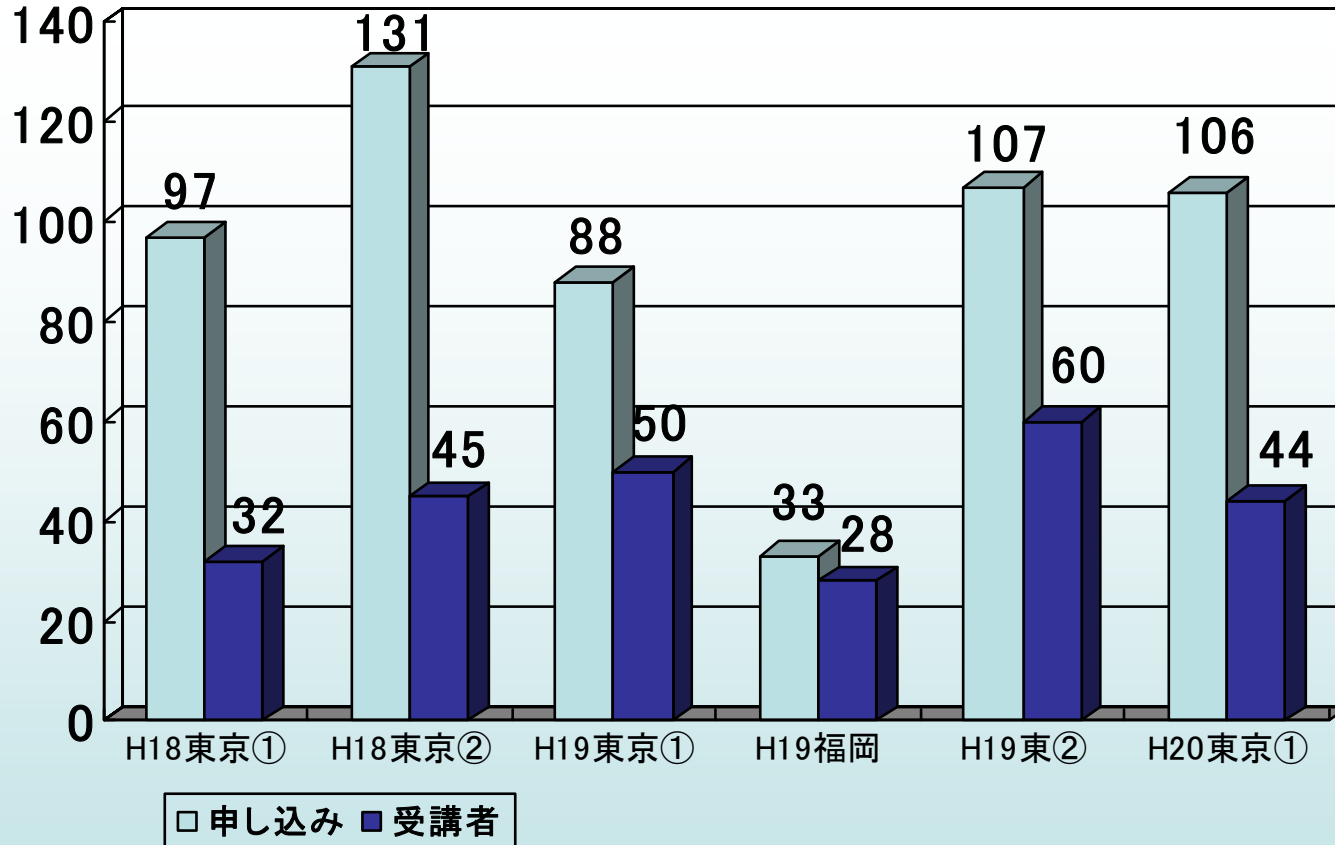
職場適応援助者養成研修 申込者と受講者(第1・2号合計)



全体に定員の2倍近い申し込みがあり、選考により受講者を決定している。

平成19年度に福岡での地方開催を実施。平成20年度も広島で開催の予定。

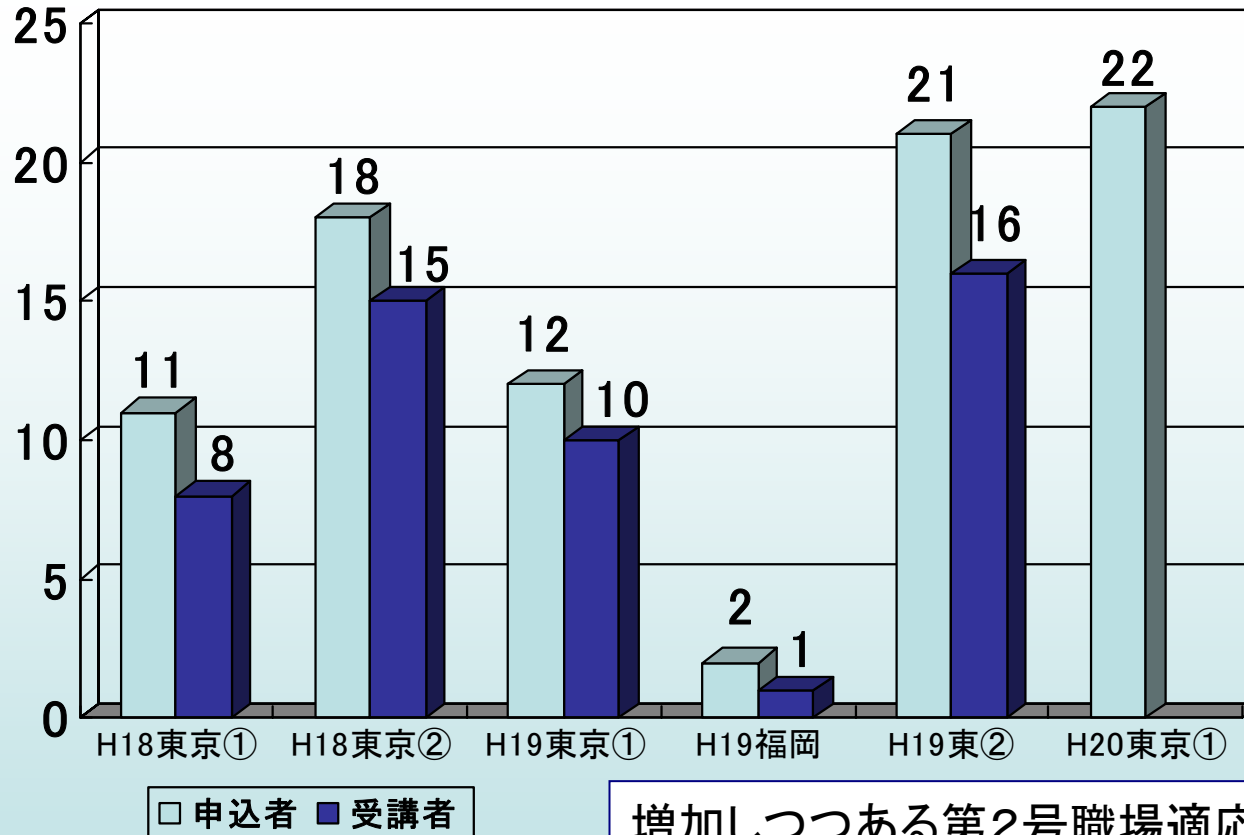
職場適応援助者養成研修 申込者と受講者(第1号)



定員の2倍強の申し込みが続いている。教員、企業退職予定者、助成金活用の予定がない福祉施設職員なども3割程度含まれている。

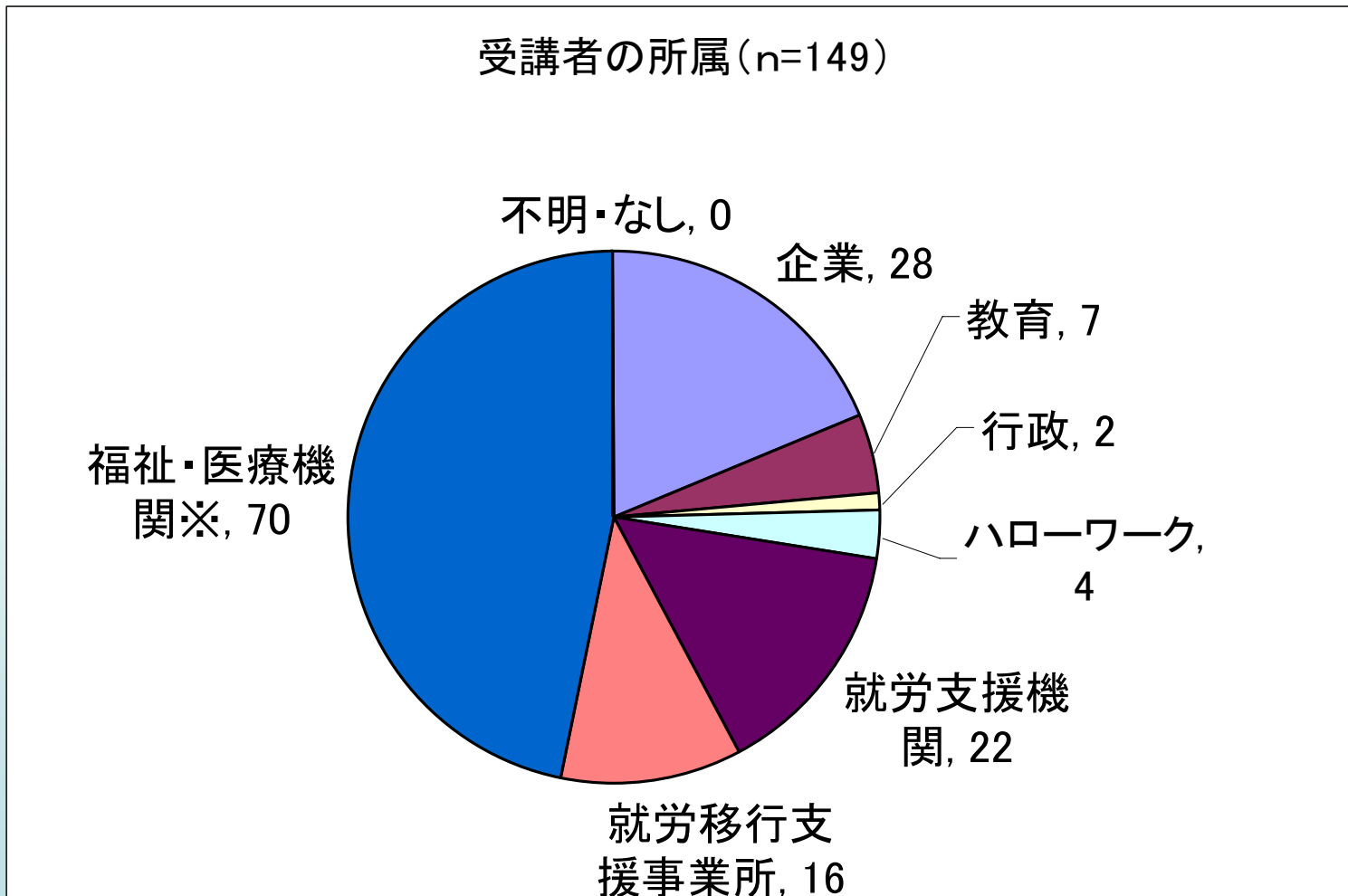
助成金活用の予定があるか、就労移行支援事業の予定のあるが、地域バランス、年齢などを勘案して選考している。

職場適応援助者養成研修 申込者と受講者(第2号)



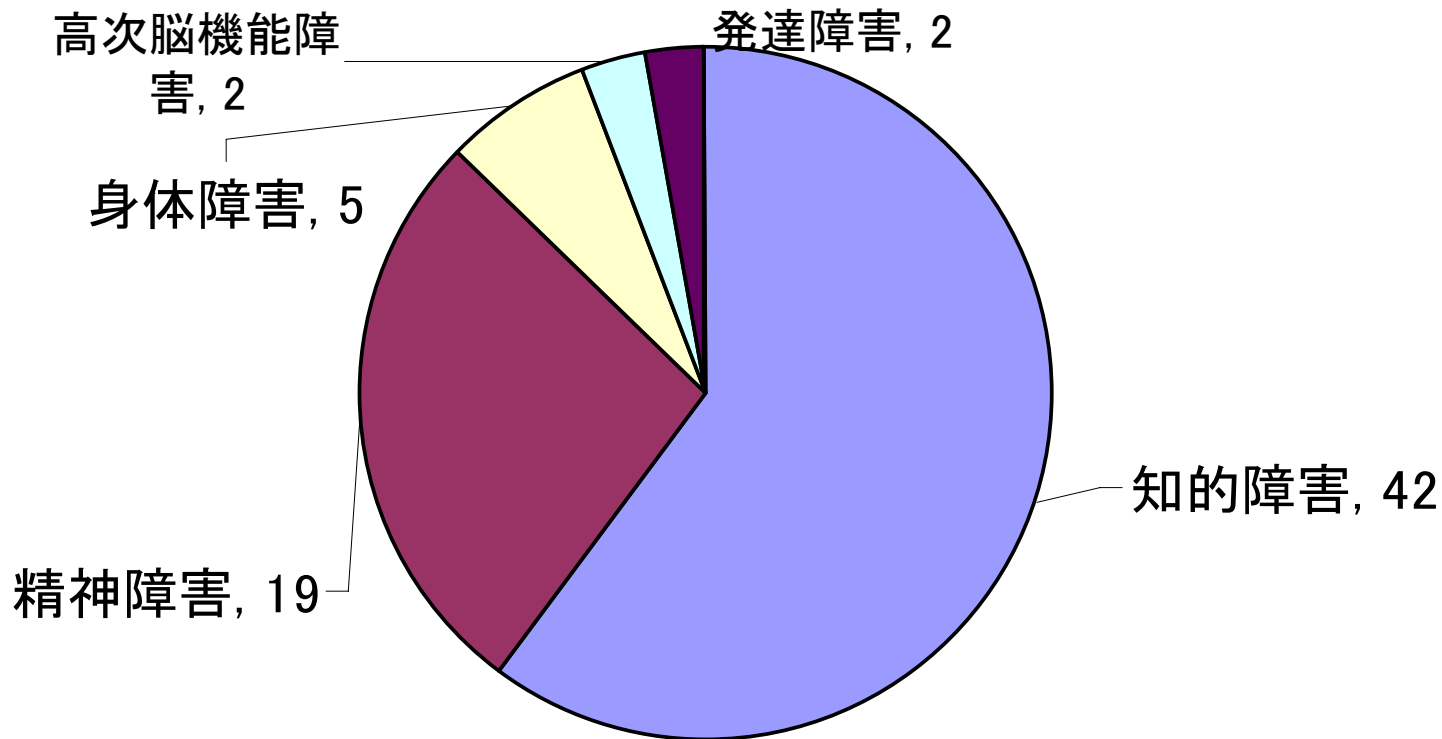
増加しつつある第2号職場適応援助者の研修ニーズ。第2号職場適応援助者助成金の活用予定は不明であるところが多い。助成金の要件というよりも、スキルアップ研修として参加している例が多い。

受講者の内訳(H19年度)

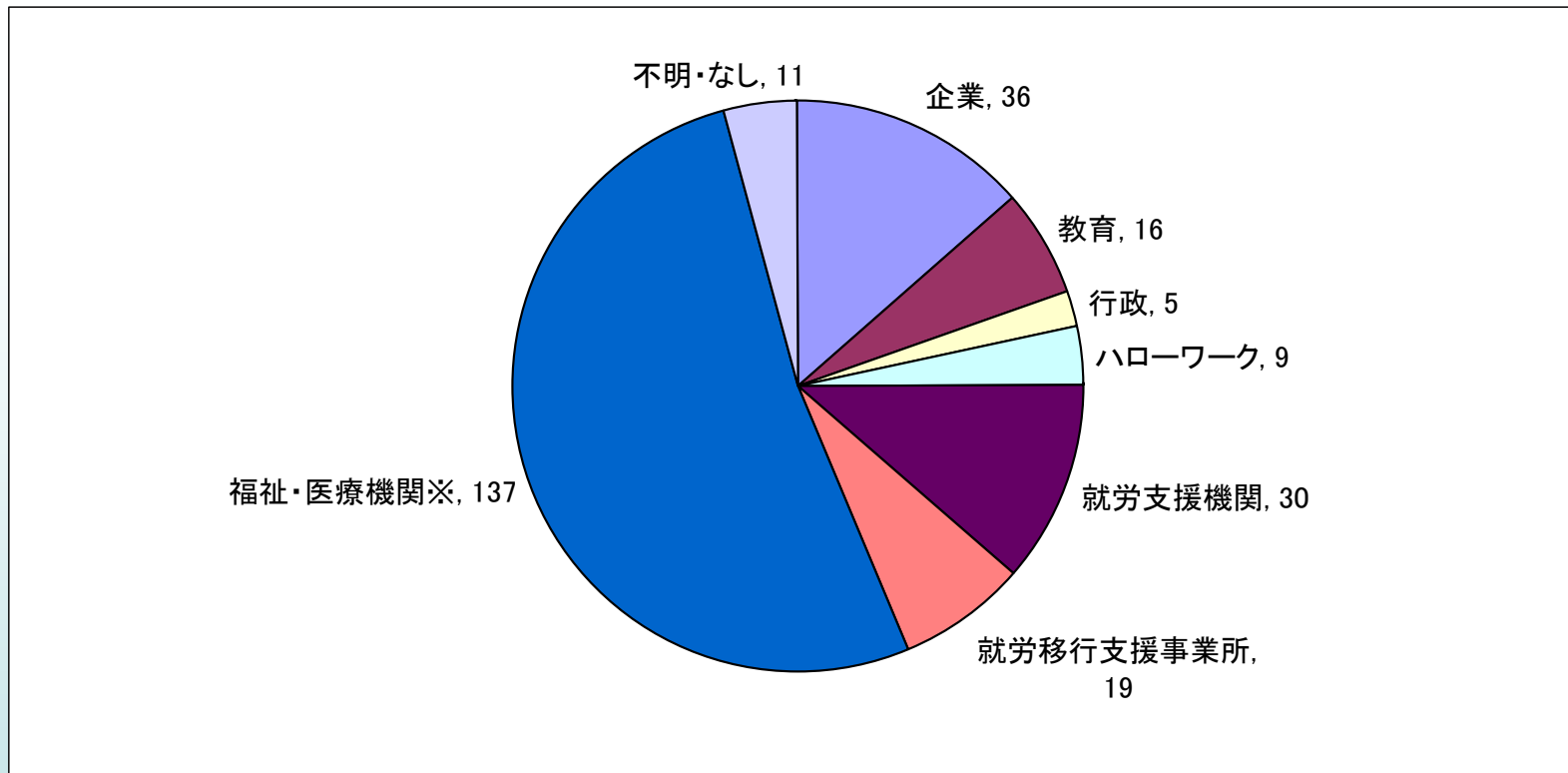


受講者の内訳(H19年度) (福祉医療関係の詳細)

※福祉・医療機関における主な支援対象(n=70)



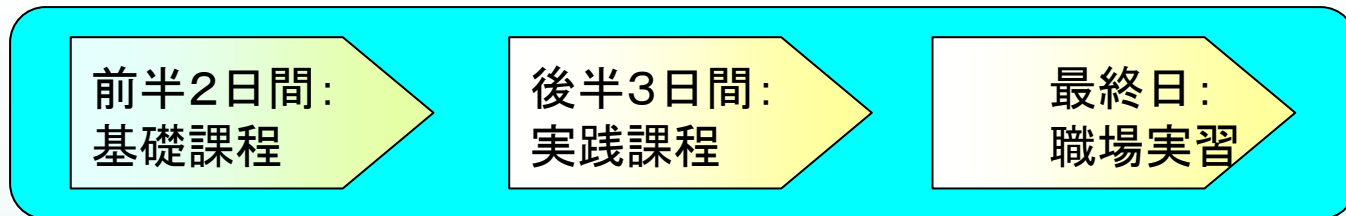
申込者の内訳(H19年度)



今後、数年間は継続して一定の研修ニーズがあるだろう。実践的な就労支援の人材養成としての研修ニーズを職場適応援助者養成研修がどこまで受け止めるべきかは、難しい問題である。

プログラム

- 3つのステージからプログラムを構成してにている。



- 実践課程は、「講義」と「演習」を通して実践的学習を行う。支援プロセスに沿って方法論と技術を習得する。

- ① 障害のある人のアセスメントとプランニング
- ② 職場開拓とインフォームドコンセント
- ③ 職場のアセスメントと職務再構成
- ④ ナチュラルサポートの形成
- ⑤ システムティック・インストラクション
- ⑥ 作業指示書や道具等の活用
- ⑦ フォローアップ